



「平成の大遷宮」により御修造がととのった出雲大社御本殿

くにたまの会会報

【創刊号】

発行／くにたまの会
 島根県出雲市大社町杵築東195
 出雲大社社務所内
 TEL：0853-53-3100



くにたまの会総裁
 出雲大社宮司

千家尊祐

皆様方には、日頃より「くにたまの会」のことにつきましてお力添えを賜わり、厚く御礼を申し上げます。

本会は多くの御神名でお讃え申し上げ、全国津々浦々にお鎮まりでいらつしやいます大国主大神様を奉斎される神社が心を結び合い、御神徳の宣揚と斯道の発展、そして鎮座地域の活性化などを目的として、平成二十四年十一月に発起人会・設立総会が開催されて大きな第一歩を歩み始めました。

時あたかも六十年に一度という出雲大社の御遷宮の折に本会が設立を迎え、その発展が結ばれますことに、大神様も殊のほか御嘉納の御事と拝察申し上げます。

大神様は日本の「国づくり」において人々が共に豊かに栄えるようにと、農業・漁業・医薬などの道を開かれ、衣食住の生活の基礎を築かれました。そして、「国譲り」において天津神の仰せの随に、平和な内に国土をお譲りになられました。その際、目に見える顕世は

天照大御神様が、目に見えない幽世は大国主大神様が司るようにとの尊い御神勅を戴かれ、畏くも天皇陛下を真中に仰ぐ日本の歴史が始まりました。今なお、万世一系としてその歴史が続いておりますことは世界に誇る日本の国柄であり、その歴史の始まりに大神様の尊い御神徳が顕されましたことは、私共にとりまして大きな誇りでございます。

この大神様の御神徳を祈る人々によって各地に大神様を奉斎する神社が御造営され、悠久なる歴史の中で祈り継がれてきました。大神様の大前にご奉仕させて戴く私共は、大神様の「国づくり」の大業を受け継いで心豊かな社会づくりにつとめていかなければなりません。本会の活動は、こうした私共の使命を更に強くたく結んでいくものでございます。

今後とも、皆様方と共に手を携え、本会の拡充発展に力を注いでまいりたいと存じますので、一層のお心添えをお願い申し上げます。

「くにたまの会」の歩み

発起人会・設立総会

平成二十四年十一月七日、出雲大社において「くにたまの会 発起人会・設立総会」が開催され、御祭神を同じくする全国の神社の

連合会が「くにたまの会」として発会され、その大きな第一歩を踏み出しました。

当日午前九時三十分より、出雲大社社務所を会場に行なわれた発起人会・設立総会には、全国から六十四社に及ぶ会員の宮司が集い、

始めに発会にあたって準備を進めてきました各地区の世話人十二名の宮司を代表し、出雲大社千家尊祐宮司により挨拶がなされた後、同じく世話人である大神神社鈴木寛治宮司より発会に関わる経緯などが説明されました。そして「くにたまの会」の名称の由来や趣意が説明されて議事へと移り、様々な議案の審議が行なわれました。

会の後には仮拝殿において発会の奉告祭が厳粛に斎行され、祭典後には出雲大社「平成の大遷宮」によって御修造が行なわれている御本殿の拝観が行なわれました。その後、会場を移して開

催された発会記念式典では、「くにたまの会」の総裁に就任した千家尊祐宮司より挨拶がなされ、島根県知事代理の県顧問佐藤孝男様、また神社本庁統理代理の総長田中恆清様より御祝辞を賜った後、「日本武尊を仰ぐ会」の会長小串和夫様による乾杯のご発声により、賑々しく祝宴が催されました。祝宴の最中には国指定重要無形民俗文化財に指定されている地元大土地神楽保存会の皆様による「国譲り」の神楽が披露され、出雲大社手銭白三郎総代の万歳三唱によって盛大裡の内に式典の幕が閉じられました。

平成二十五年度総会

発会の翌年となる平成二十五年七月十一日、出雲大社社務所を会場に三十六社の会員神社の宮司が集い、平成二十五年度の総会が開催されました。

総会に先立って出雲大社御本殿にて正式参拝を執り行いました。そして、午前十時より開催されたこの度の総会では、平成二十四年度の事業報告、会計報告がなされ、平成二十五年度の事業計画案、予算案などについての審議が行なわれました。



その後、島根県神社庁参事・万九千神社宮司の錦田剛志氏により、「御遷宮とは何か」出雲大社本殿遷座祭をお仕えして」と題しての講演会が行なわれ、同年五月十日の出雲大社「平成の大遷宮」本殿遷座祭をご奉仕されたご自身の体験をふまえながら、御遷宮に祈りを深めることの大切さについて意義深い講演を戴きました。

総会後は会場を移して和やかに懇親会が催されるなど、会員たちはこの度の総会を通じて会のはたらきに一層心を深めつつ、会の拡充発展を目指して相互の親睦を深め合いました。

くにたまの会 趣意書

大国主大神様は日本の国づくり到大御力を尽くされ、農業・漁業をはじめ医療の法など様々な道を開かれて、生きとし生けるものが共に豊かに栄える

「豊葦原瑞穂国」をおつくりになられました。そして、天照大御神様への「国譲り（国土奉還）」によって幽事をお治めになられる神様としてお鎮まりになられ、天皇陛下の大御代であります日本のはじまりを開かれました。

この偉大なる御神蹟は多くの御神名で讃えられ、大国主大神様は全国津々浦々に坐します数多の神社にお鎮まりでいらっしやいます。そして、その広大無辺なる御神徳は遍く世界を照らす大きな御光となって、悠久の世の平安を御守護戴いてまいりました。

天皇陛下・皇后陛下におかせられましては、平成十五年に出雲大社を御親拝あそばされ、皇后陛下にはその折の御心を、
国譲り祀られましし大神の

奇しき御業を偲びて止まず

この度、大国主大神様をお祀り申し上げます全国の神社が共に手を携え、御神徳の宣揚と斯道の発展、そして地域の活性化に貢献すると共に、御神縁に結ばれました氏子の交流や親睦を深めることを目的とし、「くにたまの会」を発足する運びとなりました。会の名称であります「くにたま」とは、「顕国玉神・大国魂神」ともお讃えし、我が国の守り神として生命の幸栄をお結び下さる大国主大神様の御神徳に由来します。

その御神徳を戴き、大国主大神様が幾多の試練を「蘇り」によって克服され、より尊い神格を磨かれました御神蹟に神習い、遠い父祖たちより神々への祈りによって培われてまいりました伝統ある歴史と文化、そして精神の蘇りを、皆様と共に結んでまいりたいと存じます。

くにたまの会 役員

総 裁

出雲大社宮司

千家尊祐 (島根県)

理 事 長

北海道神宮宮司

吉田源彦 (北海道)

副 理 事 長

高瀬神社宮司

藤井秀弘 (富山県)

日光二荒山神社宮司

吉田健彦 (栃木県)

大神神社宮司

鈴木寛治 (奈良県)

理 事

大國魂神社宮司

猿渡昌盛 (東京都)

荒井神社宮司

廣瀬明正 (兵庫県)

日吉大社宮司

馬淵直樹 (滋賀県)

金刀比羅宮宮司

琴陵容世 (香川県)

都農神社宮司

永友謙二 (宮崎県)

監 事

出羽三山神社宮司

宮野直生 (山形県)

小國神社宮司

打田文博 (静岡県)

くにたまの会 会員神社 (平成26年7月1日現在)

神社名	宮司名	鎮座地
北海道神宮	吉田源彦	北海道
新川皇大神社	関義明	北海道
烈々布神社	松谷俊	北海道
湯倉神社	伊部宗博	北海道
余市神社	星野俊雄	北海道
上ノ國八幡宮	松崎辰彦	北海道
龍宮神社	本間公祐	北海道
中嶋神社	森田邦義	北海道
琴似神社	菅原正文	北海道
札幌祖霊神社	上田進	北海道
札幌村神社	草間孝廣	北海道
江別神社	内田悟	北海道
美瑛神社	狩野貴美雄	北海道
鷹栖神社	五十嵐徹子	北海道
富良野神社	西川邦秀	北海道
大國神社	大西祥太	北海道
帯廣神社	大野清徳	北海道
上士幌神社	山内豊一	北海道
池田神社	岩崎寿澄	北海道
羅臼神社	山中伸行	北海道
霧多布神社	熊谷正	北海道
札内神社	岩崎寿宣	北海道
北見富士神社	常磐井武榮	北海道
上湧別神社	鎌田正祺	北海道
夕張神社	手塚整輝	北海道
比布神社	鎌田告人	北海道
江南神社	中村憲由樹	北海道
太平山三吉神社	田村泰教	秋田県
総社神社	川尻孝紀	秋田県
日吉神社	石澤千秋	秋田県
鳥谷崎神社	稲田典之	岩手県
岩木山神社	須藤茂忠	青森県
大國魂神社	山名隆弘	福島県
金刀比羅神社	金土重順	福島県
温泉神社	佐波古直己	福島県

神社名	宮司名	鎮座地
出羽三山神社	宮野直生	山形県
里之宮湯殿山神社	渋谷宣寛	山形県
山王日枝神社	武田紘	山形県
大宮子易両神社	遠藤胤睦	山形県
大國魂神社	猿渡昌盛	東京都
神田神社	大鳥居信史	東京都
五條天神社	始澤澄江	東京都
亀戸香取神社	香取邦彦	東京都
諏訪神社	村岡賢治	東京都
杵築神社	窪田隆榮	東京都
阿伎留神社	阿留多伎潔	東京都
琴平神社	志村幸男	神奈川県
大杉神社	市川久仁守	茨城県
大洗磯前神社	飯塚重	茨城県
西金砂神社	中嶋又実	茨城県
常陸國總社宮	石崎雅比古	茨城県
日光二荒山神社	吉田健彦	栃木県
大前神社	柳田耕太	栃木県
須賀神社	沼部春友	栃木県
温泉神社	人見昇三	栃木県
太平山神社	小林一成	栃木県
鷲宮神社	菱沼至広	栃木県
氷川神社	東角井晴臣	埼玉県
久伊豆神社	馬場裕彦	埼玉県
鷲宮神社	相澤力	埼玉県
久伊豆神社	小林一朗	埼玉県
玉敷神社	河野雪雄	埼玉県
久伊豆神社	矢島忠男	埼玉県
古谷神社	新井雄治	埼玉県
川越氷川神社	山田禎久	埼玉県
中氷川神社	朝日達夫	埼玉県
琴平(稻荷)神社	市川東太郎	群馬県
倉賀野神社	高木直明	群馬県
中之嶽神社	工藤貴弘	群馬県
貴船神社	奥澤公慶	群馬県

神社名	宮司名	鎮座地
美和神社	桃井一祝	山梨県
賀茂神社	廣部重紀	福井県
篠座神社	猪島昭子	福井県
朽飯八幡神社	若山保則	福井県
總社大神宮	糟谷直毅	福井県
金刀比羅山宮	高原正舟	福井県
松尾神社	田中範夫	福井県
宇多須神社	森博	石川県
浅野神社	厚見恵	石川県
白山比咩神社	村山和臣	石川県
気多大社	松尾孝夫	石川県
日吉神社	水野吉紀	石川県
日枝神社	大瀧武恭	石川県
清水八幡神社	加藤裕介	石川県
高瀬神社	藤井秀弘	富山県
日枝神社	平尾旨明	富山県
惣社白山神社	高尾克重	富山県
奴奈川神社	榊守夫	新潟県
居多神社	花ヶ前盛明	新潟県
大形神社	寺山仁一	新潟県
白山神社	小林直毅	新潟県
日枝神社	藤田百人	新潟県
中山神社	轡田直樹	新潟県
熱田神宮	小串和夫	愛知県
伊豆毛神社	太田秀系	長野県
科野大宮社	今井正昭	長野県
八剣神社	宮坂清	長野県
御嶽神社	滝和人	長野県
小國神社	打田文博	静岡県
来宮神社	雨宮盛克	静岡県
神部神社		
浅間神社	櫻井豊彦	静岡県
大歳御祖神社		
岩田神社	青島清三郎	静岡県
大頭龍神社	白松紀人	静岡県
砥鹿神社	香取武	愛知県
大社神社	鈴木忍	愛知県

神社名	宮司名	鎮座地
日吉神社	三輪隆裕	愛知県
尾張大國霊神社	山脇敏夫	愛知県
津島神社	伊藤祥文	愛知県
大縣神社	牧野武彦	愛知県
三輪神社	宗宮崇夫	岐阜県
三輪神社	宮本仙翁	岐阜県
洲原神社	安田昌代	岐阜県
阿多由太神社	加藤英司	岐阜県
日吉大社	馬淵直樹	滋賀県
印岐志呂神社	林康次	滋賀県
柏木神社	川島雅臣	滋賀県
豊満神社	大橋良造	滋賀県
保利神社	乾充宏	大阪府
富田三輪神社	好田安彦	大阪府
三島神社	西川亮彦	大阪府
由岐神社	森川順行	京都府
今宮神社	佐々木従久	京都府
粟田神社	佐々貴敏道	京都府
出雲大神宮	岩田昌憲	京都府
大神神社	鈴木寛治	奈良県
大和神社	塩谷陸男	奈良県
玉置神社	弓場季彦	奈良県
五名生石神社	岩本道弘	和歌山県
荒井神社	廣瀬明正	兵庫県
湯泉神社	別所敬介	兵庫県
河内國魂神社	伊藤孝二	兵庫県
生島神社	栗山昌子	兵庫県
西宮神社	吉井良昭	兵庫県
小田井県神社	稲垣淳	兵庫県
兵主神社	河上輝彦	兵庫県
射楯兵主神社	西本和俊	兵庫県
大塩天満宮	中村要	兵庫県
御形神社	進藤千秋	兵庫県
家島神社	高島俊紀	兵庫県
高砂神社	小松守道	兵庫県
石乃寶殿生石神社	東久嗣	兵庫県
兵主神社	宮崎博通	兵庫県

神社名	宮司名	鎮座地
夜比良神社	盛田賢孝	兵庫県
氷室神社	小林栄一	兵庫県
出雲大社	千家尊祐	島根県
伊奈西波岐神社	長谷川高 清	島根県
大隅神社	石田博之	岡山県
八代神社	西井 愷	岡山県
備中國總社	渡邊雅夫	岡山県
甘南備神社	小田瑞穂	広島県
観音神社	川口亮二	広島県
二所山田神社	宮本公胤	山口県
金刀比羅宮	琴陵容世	香川県
宇夫階神社	宮本守也	香川県

神社名	宮司名	鎮座地
宇和津彦神社	長曾我部 相模	愛媛県
八坂神社	波多野 安彦	福岡県
十日恵比須神社	野上 清隆	福岡県
住吉神社	松本 弘	長崎県
矢上神社	金子 泰	長崎県
三輪神社	三輪 浩孝	長崎県
別所琴平神社	藤岡 秀夫	熊本県
闇無濱神社	重松 孝邦	大分県
日吉神社	安藤 伸	大分県
都農神社	永友 謙二	宮崎県
大穴持神社	谷口 巖	鹿児島県

くにたまの会 入会のご案内

くにたまの会は、「だいこくさま」を奉斎する神社の全国組織で、御神徳の宣揚と斯道の発展、鎮座地域の活性化などを目的に左記の活動を行なっています。より大きな御神縁が結ばれますよう、一社でも多くの神社にご加入戴きたく、ご案内申し上げます。

活動内容

- 親睦融和相互研修会
- 会員名簿の作成
- 会報の発行
- 伝統神事・民俗文化の交流・研修など
- 全国会員神社巡拝
- 会員神社の社報の交換
- 会員神社氏子の交流・親睦

※年会費は参千円です。



詳しくは、くにたまの会事務局まで
お問い合わせ下さい。

【くにたまの会事務局】

島根県出雲市大社町杵築東一九五
出雲大社社務所内
電話 ○八五三一五三一三〇〇